

次世代自動車の現状と今後の取組 (EV・PHV、FCV)



～次世代自動車の知識を活用し新製品開発を目指す～

2020年の東京オリンピック、2025年の環境規制に向けて、世界の自動車産業は大きな変革に直面しています。環境問題解決、省エネルギー性能等への対応から、燃料電池車(FCV)、電気自動車(EV)、プラグ・イン・ハイブリッド車(PHV)など次世代自動車の開発・普及が世界の自動車メーカーの間で競われています。

本セミナーでは次世代自動車を取り巻く各国の現状と、発展途上国における大気汚染問題を解消する次世代自動車の取組例について解説致します。

内
容

- 日本と欧米における次世代自動車の現状
- ガソリン車・水素自動車の燃費とEV電費との燃料コストの比較
- 発展途上国(ネパール)でのEVの現状と取組みについて
- 欧米・中国・インドの規制強化と日本メーカーの戦略

講
師

大阪産業大学 全学教育機構
テクニカルセンター

中平保雄氏

講
師
略
歴

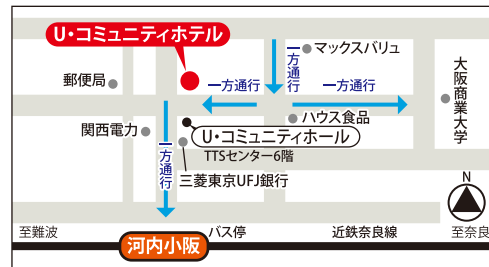
1976年 大阪工業大学電子工学科卒業、大阪産業短期大学部自動車工業科に入職し、2017年より現職。2004年に協定校であるネパールを訪問したことをきっかけに、三輪式電気自動車(Safa Tempo)を活用した実証実験を始め、現在では大気汚染問題の解消、車両運行改善に尽力している。

日時 平成30年

2月21日(水)

14時～16時

場所 U・コミュニティホテル
2階 第2会議室 (東大阪市御厨栄町1丁目3-30)



参加費 無料

(東大阪商工会議所会員以外は1人2,000円)

定員 30名

(先着順・定員になり次第締め切ります)